

インフルエンサーと連携した「みどり戦略」の理解醸成活動

インフルエンサー（農業者）と連携した活動で、調達、生産、加工・流通、消費の各段階における多様な者への「みどり戦略」に対する理解促進と行動変容を目指す

○ 施策分類

みどりの食料システム戦略

○ 課題の把握

大分県拠点ではこれまで勉強会を軸にみどり戦略の普及・啓発で理解促進と行動変容を目指してきたが、関係機関や関心のある者の参加により毎回盛況である反面、幅広い周知が図れているとは言い難く、行政からの発信では届きにくい層への普及が課題であった。

○ 取組の内容

SNSの影響力に着目し、自身がSNS発信を行う農業者である4組6名を“おおいた「みどり戦略」オフィシャルインフルエンサー”に委嘱。それぞれのツールを使った情報発信で「みどり戦略」の理解促進に向けた周知活動への協力を依頼。

○ 効果・成果、今後の方向性

委嘱式をマスコミ5社が報道。NHKニュースや地元新聞でも掲載。インフルエンサーは農作業等で忙しい中、無償であるにも関わらず、投稿やイベント参加など意欲的に活動。令和7年1月末現在、投稿数はYouTube38件、Instagram31件。視聴数は約8.9万回以上。視聴者からは様々な気づきや意見が寄せられており、「みどり戦略」を知らない人達の「知るきっかけ」に寄与している。

インフルエンサー活動には期待が高く、来年度も協力を依頼予定。特に、Z世代の行動変容に向けたコンテンツの充実が課題。



SNSでの発信の様子

【5月31日NHKニュースでの報道】



【1月23日今日新聞掲載】



マスコミ報道の紹介

体制図
(イメージ図)

